

2007年5月24日

液晶パネル製造装置の新工場棟が竣工 埼玉事業所、第8世代以降に対応した大型装置を生産

株式会社日立ハイテクノロジーズ（執行役社長：大林 秀仁ノ以下、日立ハイテク）は、2006年8月から埼玉事業所（埼玉県児玉郡上里町）において建設を進めていた液晶パネル製造装置の新工場棟（新C棟）をこのたび竣工しました。

液晶テレビの大型化、需要拡大により、国内外の液晶パネルメーカーでは第8世代の液晶パネル工場の建設、稼動が本格化しています。2002年の第5世代のガラス基板は1,100×1,300mmであったのに対し、第8世代では2,200×2,500mmと面積比で4倍以上となり、製造装置メーカーは大型化する装置への対応、高い生産性の実現が求められています。

当社は、湘南事業所（神奈川県足柄上郡中井町）、埼玉事業所の2拠点において液晶関連製造装置の生産を行っていますが、生産スペースの拡大と生産効率向上のため、今回埼玉事業所に新工場棟を建設しました。新工場棟では、第6～第8世代に対応したカラーフィルター用露光装置、モジュール組立設備の生産を行います。鉄骨造地上4階建で、将来予想される第9世代以降に対応した装置の生産も可能とした広大なクリーンルームを備えています。

新工場棟の竣工により、さらなる生産拡大、顧客ニーズへのスピーディーな対応が可能となりました。

日立ハイテクは、液晶関連製造装置事業を中核事業の一つとして位置付けており、業界トップシェアを誇る露光装置、モジュール組立設備の生産性向上、および新技術に対応した製品開発に積極的に取り組み、競争力強化、事業拡大を目指しています。

【新工場棟（新C棟）の概要】

- ・ 鉄骨造4階建
- ・ 所在地： 埼玉県児玉郡上里町嘉美1600番地
- ・ 建築面積： 6,056㎡
- ・ 延べ床面積： 16,419㎡
- ・ 竣工日： 2007年4月27日

お問い合わせ先

社長室 広報・IRグループ 担当：塩澤

TEL：03-3504-5637